

令和8年度 第1回十和田湖1000年会議

十和田湖 観光データ共有

マスタープランより重点施策(抜粋)

インタープリテーション
(魅力・価値のサービス化)
計画策定

十和田湖ならではの魅力・価値の
インナーブランディング
及び 商品化検討・勉強

「十和田湖でしかできない体験」を磨き上げ
滞在や消費に繋げる

「誰に・何を・届けるか」を考えるため、データをみていく

第1回は、十和田湖の「現在地」を共有する回

今回のデータ共有の考え方

- イメージだけではなく、**数値で見る**
- 地域目線だけでなく、**お客様目線で見える**
- 今後の**話し合いの論点を揃える**

第1回は、十和田湖の「現在地」を共有する回

本日の流れ(共有するデータ)

認知

どんな
イメージ？

- ・十和田湖の認知率
- ・十和田に持つイメージ

来訪状況

どれぐらい
来ている？

- ・宿泊者数
- ・インバウンド状況

来訪者像

どんな人が
来ている？

- ・来訪者の属性
- ・来訪目的
- ・旅行消費額

課題解決に向けて

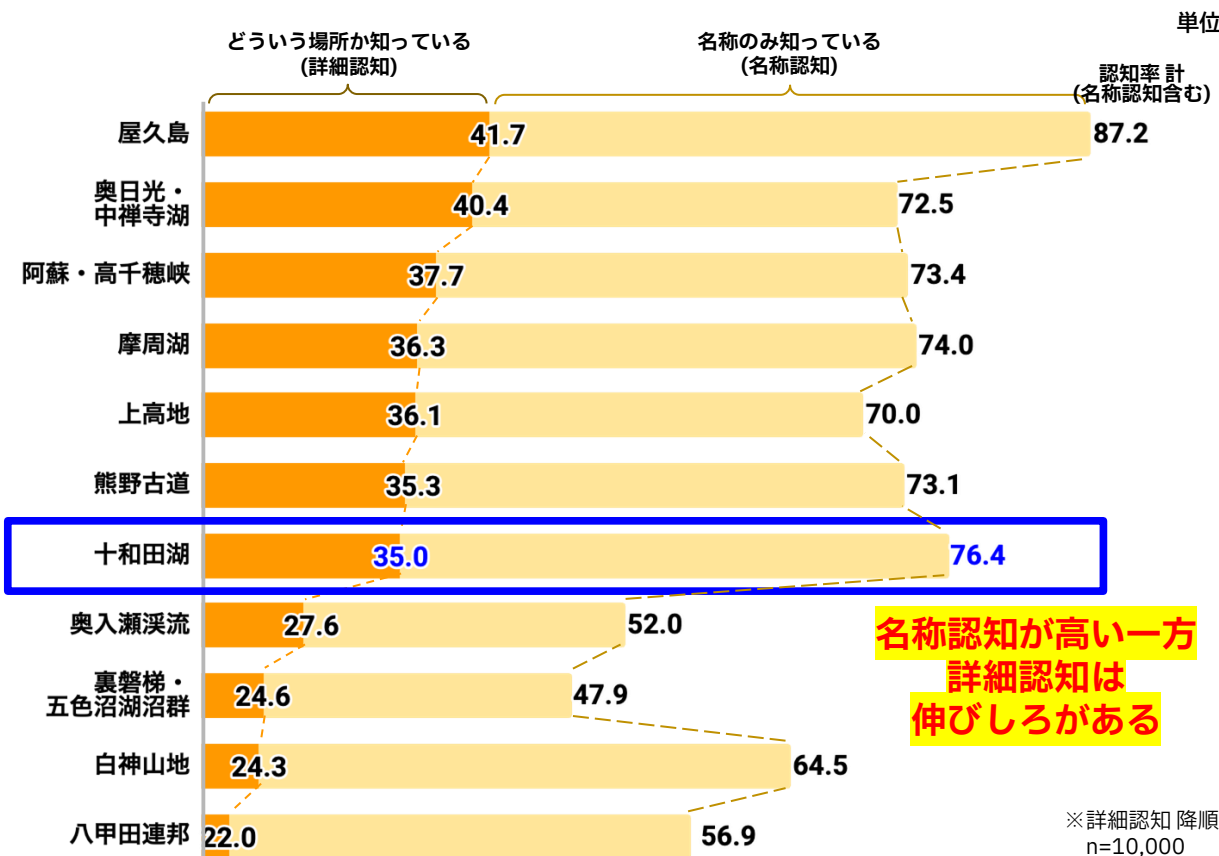
どこに
伸びしろがある？

- ・来訪者満足度
- ・お客様の興味・関心

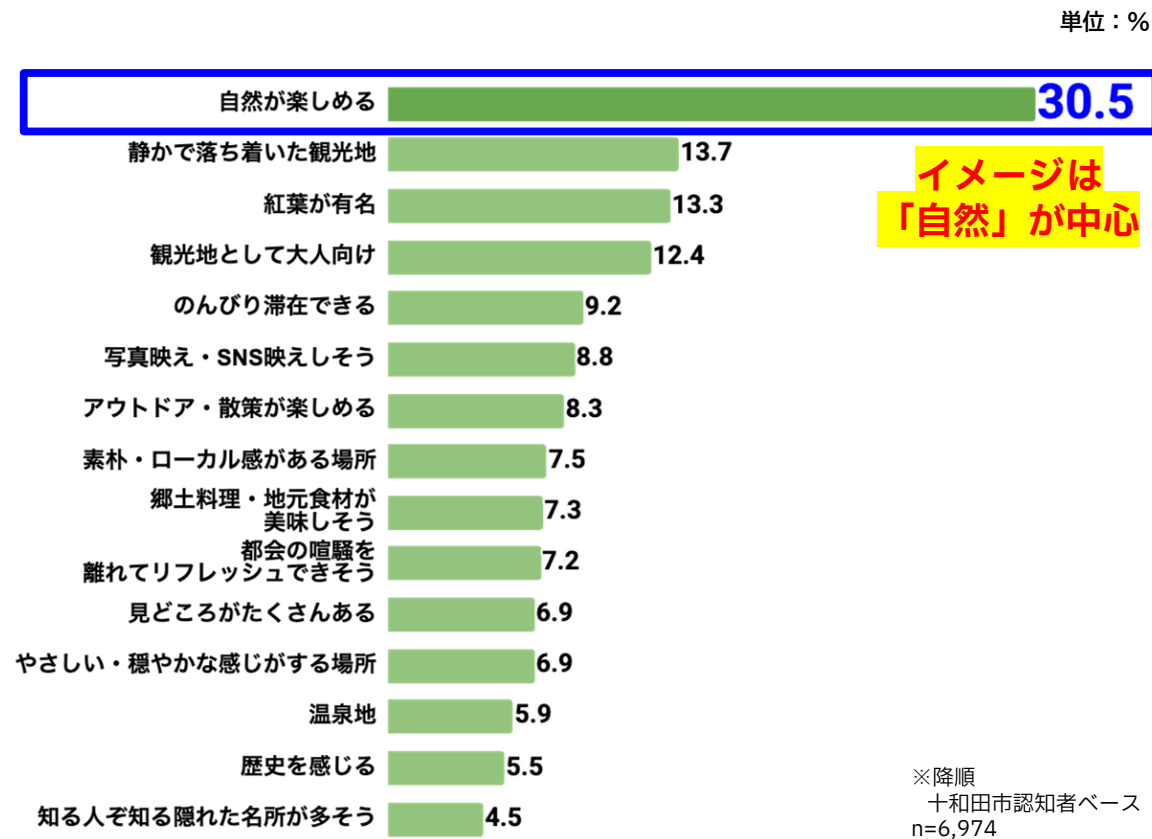
1.認知

(1) 認知度・イメージ(十和田市認知度調査結果報告書より)

①十和田湖の認知率

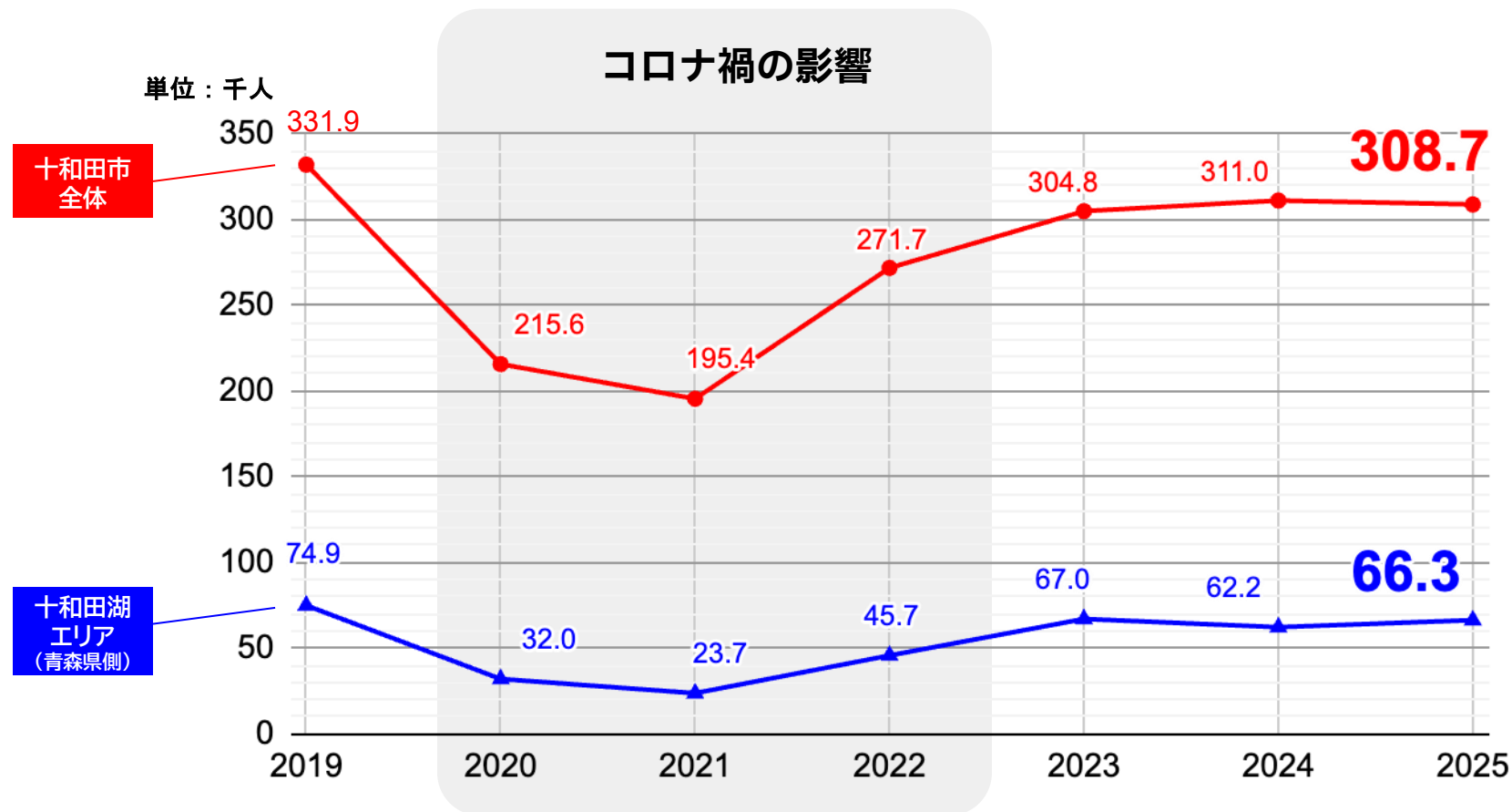


②十和田市に持つイメージ



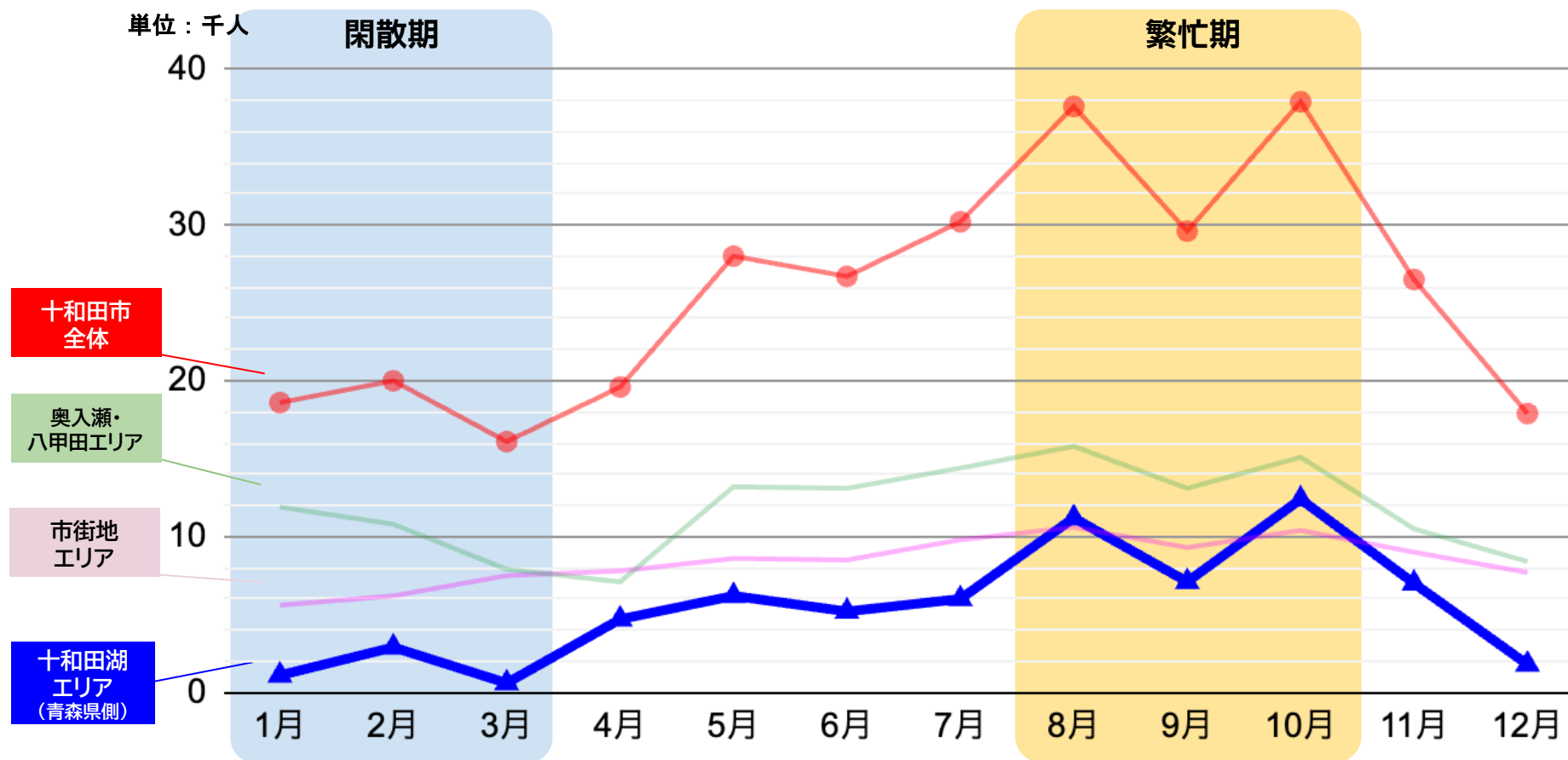
十和田湖は名称認知が高いが、詳細認知には伸びしろがある。十和田市のイメージは「自然が楽しめる」が突出しており、十和田湖がそのイメージを支えている可能性がある

(1) 宿泊者数 年間推移



宿泊者数は、コロナ禍で大きく落ち込んだものの、その後は回復し
現在はコロナ禍前に近い水準となっている。

(2) 2025年 宿泊者数 月別推移



十和田湖は夏～秋に来訪が集中し、冬季との差が大きい。
冬季の来る理由をつくることが課題

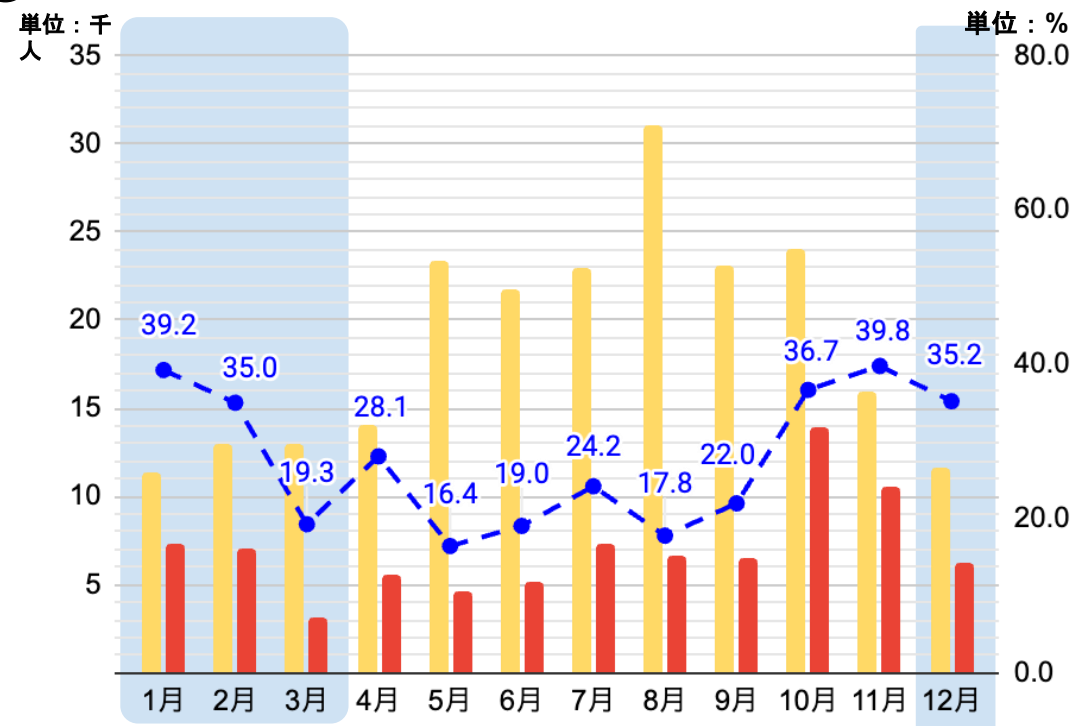
出典：2025年 宿泊統計(十和田奥入瀬観光機構) ※「十和田湖エリア」は青森県側の宿泊施設のみが対象

(3) 2025年 宿泊者数(日本人・外国人別)・外国人構成比 月別推移

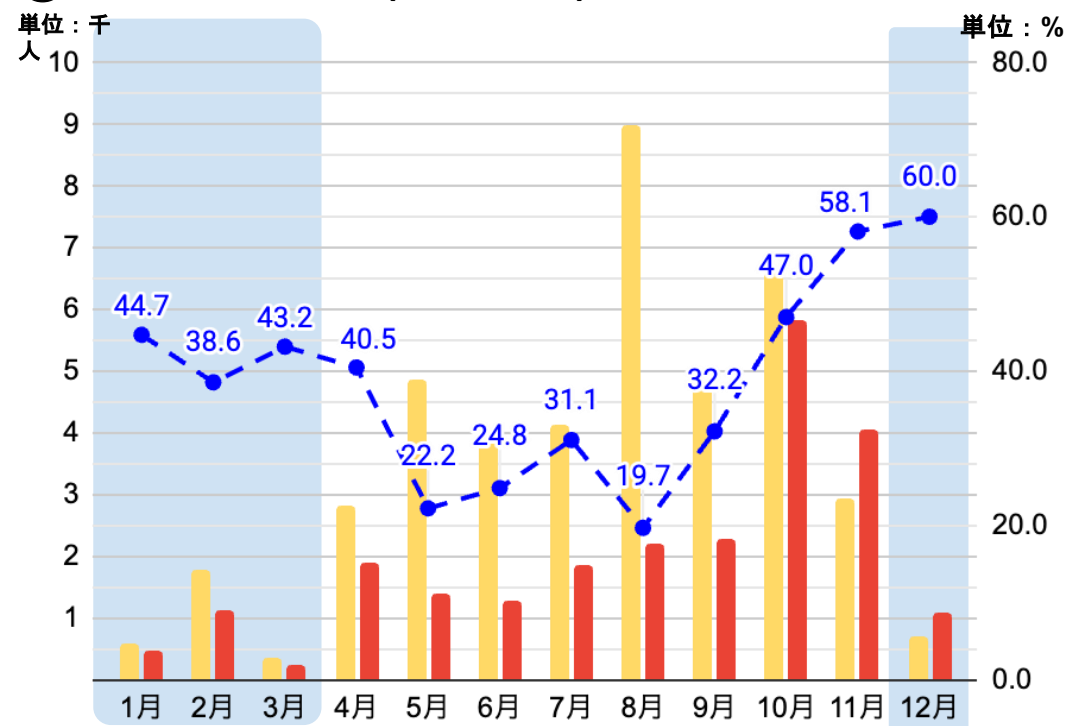
■ 日本人宿泊者数 ■ 外国人宿泊者数 -●- 外国人構成比

【注意】左右のグラフで、縦軸の目盛りが異なります

①十和田市全体



②十和田湖エリア(青森県側)



十和田湖エリアでは、秋から冬にかけて外国人宿泊者の割合が高まり、11・12月は外国人宿泊者数が日本人を上回る。外国人旅行者は冬季誘客で重要なターゲットとなる。他方、冬季宿泊者数自体は日本人・外国人ともにまだ少なく、冬季全体の底上げが必要。

出典：2025年 宿泊統計(十和田奥入瀬観光機構) ※「十和田湖エリア」は青森県側の宿泊施設のみが対象

(4) 2025年 外国人宿泊者のエリア別 特徴

日本全体

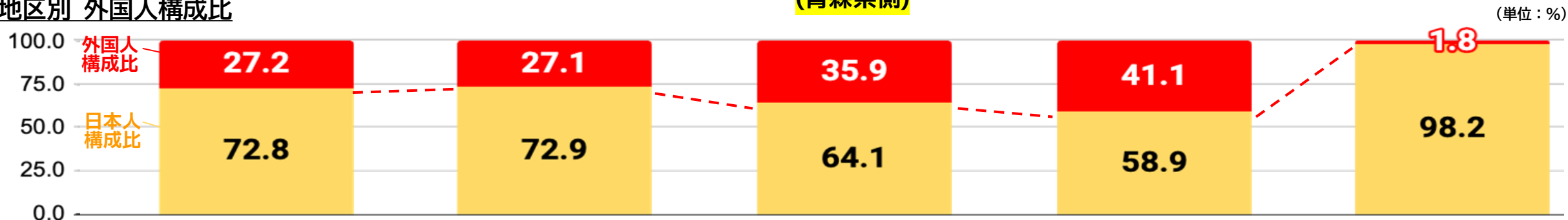
十和田全体

十和田湖エリア
(青森県側)

奥入瀬・八甲田エリア

市街地エリア

①地区別 外国人構成比



②上位5カ国または地域

(単位：人・%)

国・地域	宿泊者数	構成比
外国人計	154,254,100	-
1 中国	30,357,910	19.7
2 台湾	19,971,870	12.9
3 韓国	17,731,300	11.5
4 アメリカ	17,217,950	11.2
5 香港	6,599,860	4.3

国・地域	宿泊者数	構成比
外国人計	83,730	-
1 台湾	50,025	59.7
2 中国	12,687	15.2
3 香港	6,421	7.7
4 韓国	4,271	5.1
5 アメリカ	2,336	2.8

国・地域	宿泊者数	構成比
外国人計	23,812	-
1 台湾	18,313	76.9
2 香港	1,138	4.8
3 韓国	881	3.7
4 中国	844	3.5
5 アメリカ	376	1.6

国・地域	宿泊者数	構成比
外国人計	58,094	-
1 台湾	31,524	54.3
2 中国	11,218	19.3
3 香港	5,248	9.0
4 韓国	3,325	5.7
5 アメリカ	1,737	3.0

国・地域	宿泊者数	構成比
外国人計	1,824	-
1 中国	625	34.3
2 アメリカ	223	12.2
3 台湾	188	10.3
4 韓国	65	3.6
5 ベトナム	61	3.3

日本全体や十和田市全体と比べ、十和田湖エリアの外国人構成比は高い。
また、外国人宿泊者の約8割を台湾が占めている。一方、外国人宿泊者数は
奥入瀬・八甲田エリアの半分以下で、十和田湖での滞在拡大に余地がある。

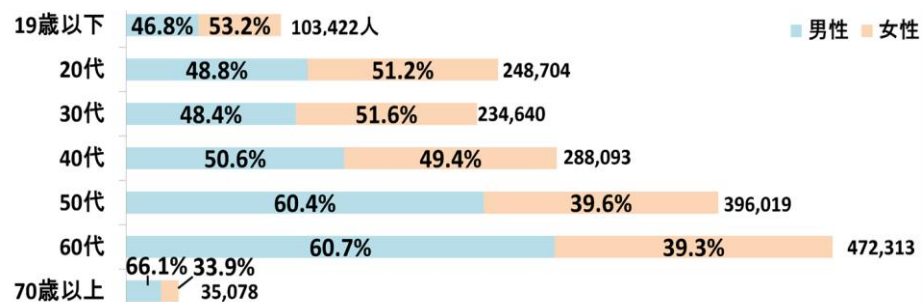
出典：日本全体のデータ→宿泊旅行統計調査2025年(観光庁)、十和田市内のデータ→2025年 宿泊統計(十和田奥入瀬観光機構) ※「十和田湖エリア」は青森県側の宿泊施設のみが対象

3.来訪者像

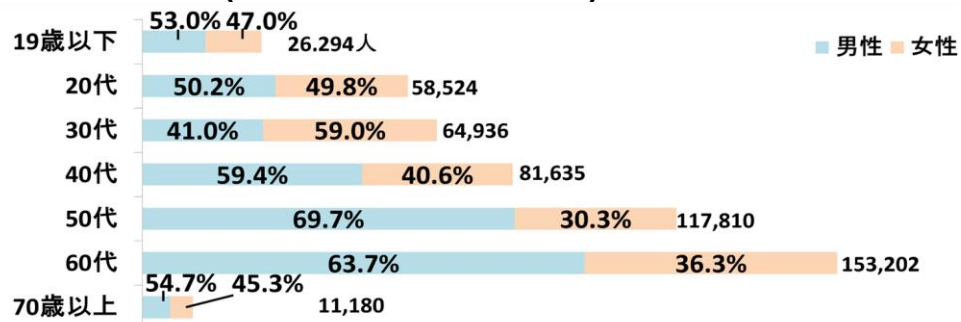
(1) 来訪者の属性（国内居住者のみ）

① 性年代別の延べ滞在数と年代別男女比

十和田市全体



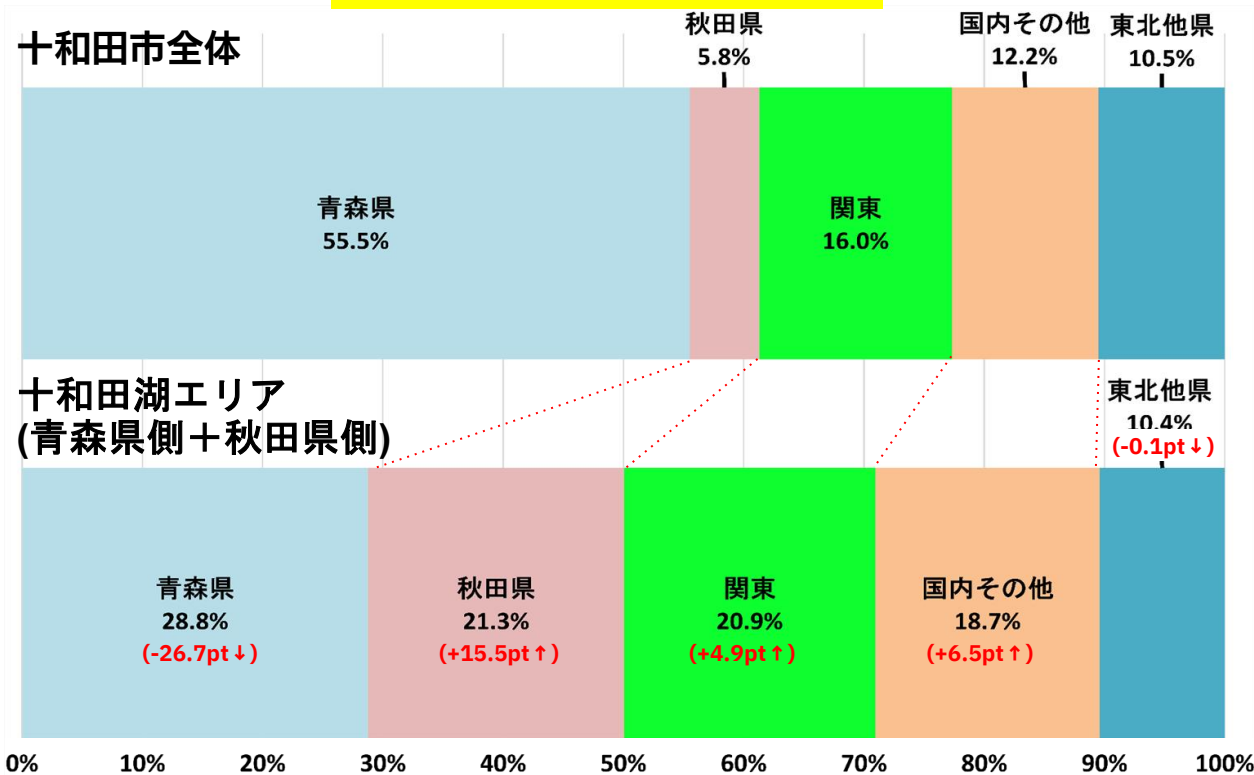
十和田湖エリア(青森県側+秋田県側)



年代 | 両地域とも60代が最多。50～60代の高年齢層が中心
性別 | 両地域とも高年齢層では男性の割合が多い傾向
特に十和田湖ではその傾向が顕著で、若年層の割合が少ない。

② 滞在者の居住地 構成比

十和田市全体



十和田市全体では青森県内からの来訪が55.5%と中心。
全体と比較し、十和田湖では青森県内からの来訪の割合が低く
秋田県・関東・国内その他など観光客の割合が高くなっている。

【出典】性年代・居住地：東北観光データマネジメントプラットフォーム（東北観光DMP）※「十和田湖エリア」は青森県側と秋田県側が対象(滞在者は、各居住者を除く)。構成比は延べ滞在数を基に算出

【分析期間】2025年4月～2026年3月

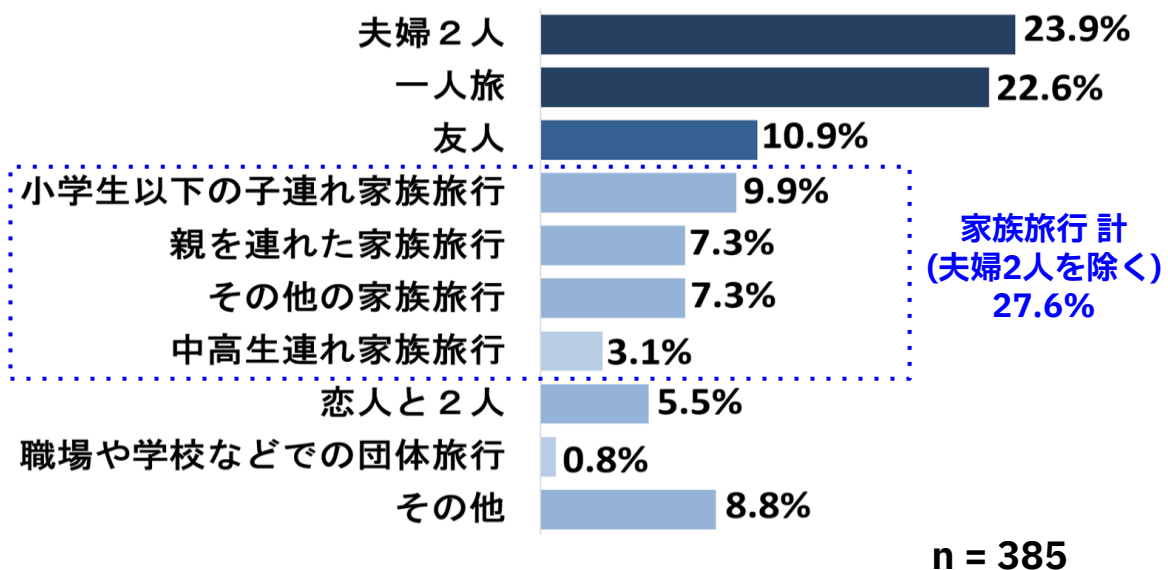
十和田湖1000年会議 | 第1回十和田湖 観光データ共有

作成 | 一般社団法人 十和田奥入瀬観光機構

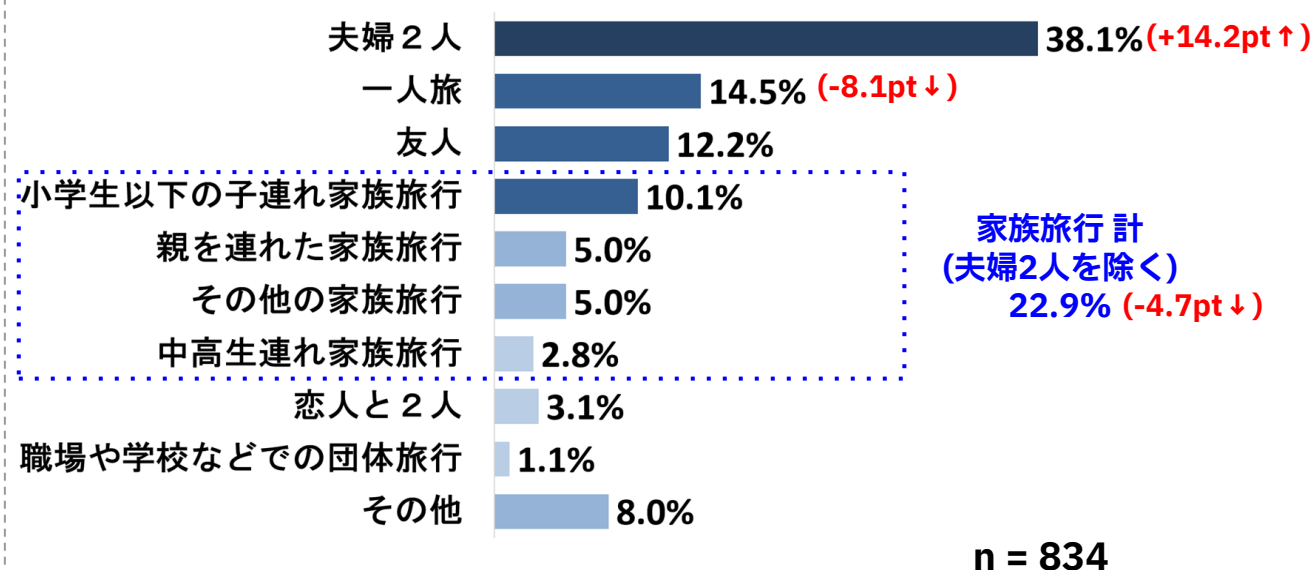
(1) 日本人来訪者の属性

③旅行主体

旅行主目的が「十和田湖・奥入瀬溪流の自然景観」ではない

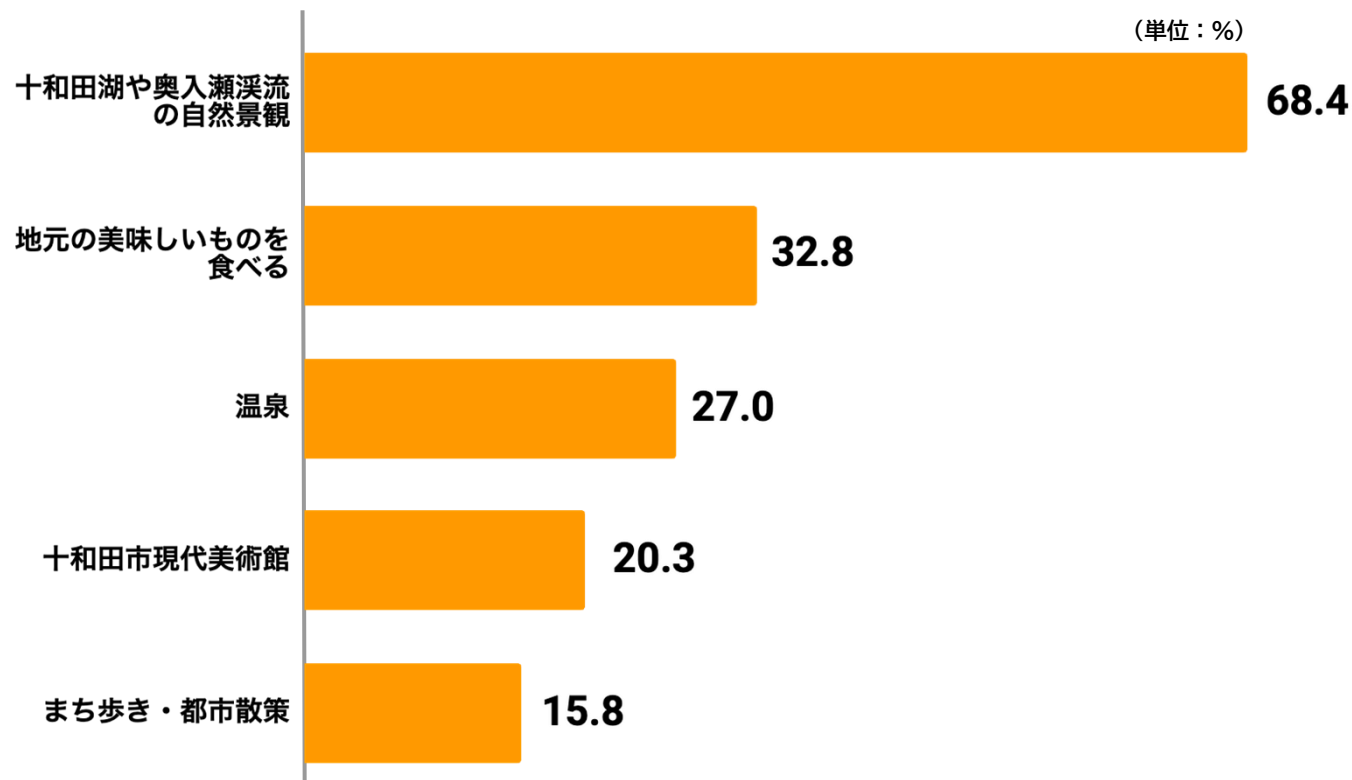


旅行主目的が「十和田湖・奥入瀬溪流の自然景観」



旅行主目的が「十和田湖・奥入瀬溪流の自然景観」の場合、そうではない場合に比べて、**夫婦2人の割合が非常に高く、1人旅・(夫婦2人を除く)家族旅行の割合が低い。**
 旅行主目的が「十和田湖・奥入瀬溪流の自然景観」の日本人来訪者は、子供や家族を連れての旅行ではなく、**夫婦2人の旅行が中心**である。

(2) 十和田への来訪者(日本人のみ) 旅行目的 ベスト5



出典：2025年度 十和田市来訪者アンケート(十和田奥入瀬観光機構)

n=1,219

【参考】 全国の旅行者(日本人)が重視する旅行目的

- | | | |
|----|-----------------------------------|--------|
| 1位 | 温泉やサウナでの
休養・リフレッシュ | 48.6 % |
| 2位 | 地元の美味しい料理や
特産品を味わう(グルメ) | 48.4 % |
| 3位 | 自然景勝地の鑑賞
(絶景・国立公園・海・沼など) | 45.9 % |
| 4位 | 家族や
パートナーとの
親睦・思い出作り | |
| 5位 | 日常を忘れること
(デジタルデトックス
精神的な癒し) | |

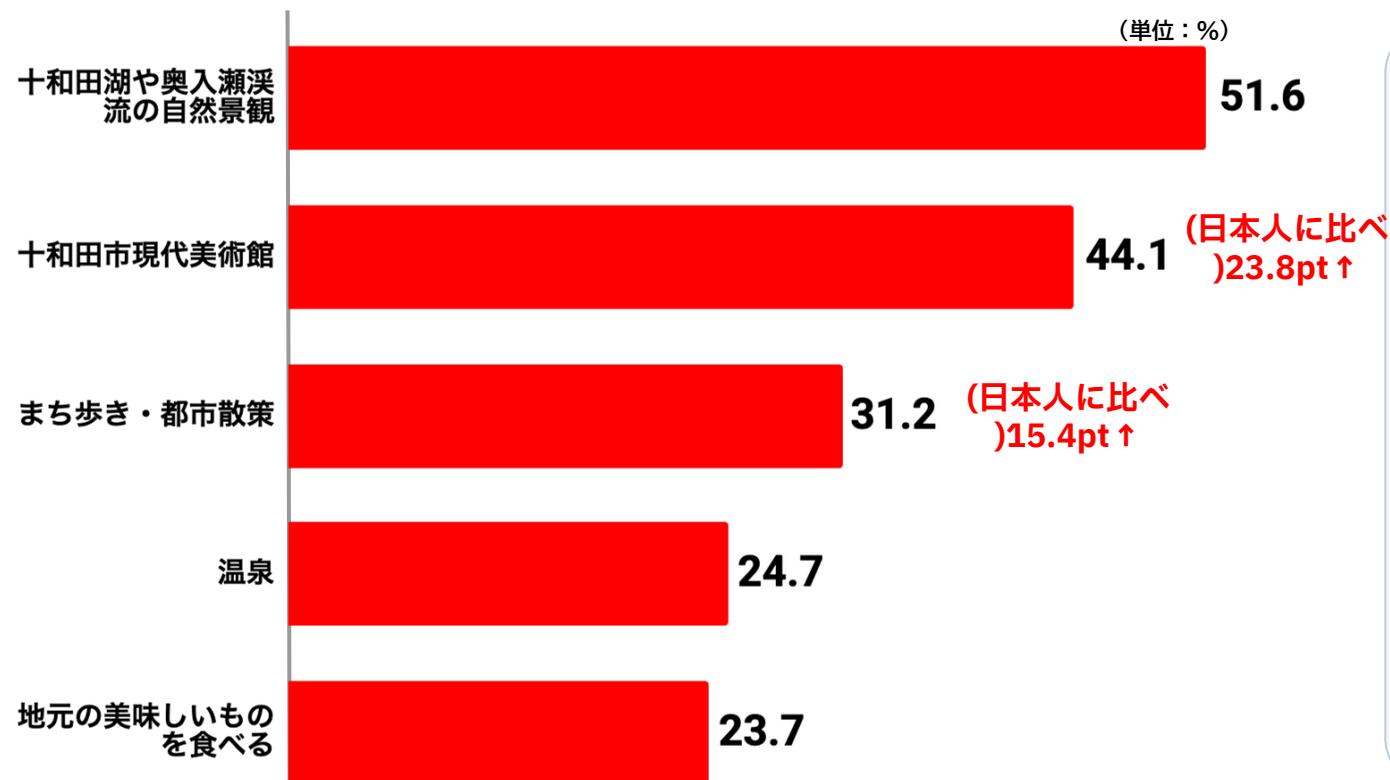
出典：2026年 十和田市認知度調査結果報告書(マクロミル)

n=2,473

【注意】 左図と右図は設問が異なるため、参考比較

日本人旅行者が重視する「温泉・食・自然」は、十和田への来訪目的でも上位なかでも十和田では、「自然景観」を目的とした来訪が最も多い。

(2) 十和田への来訪者(外国人のみ) 旅行目的 ベスト5



出典：2025年度 十和田市来訪者アンケート(十和田奥入瀬観光機構)

n=93

【注意】十和田への来訪目的(外国人)はn=93のため、参考値として掲載

【参考】全国の旅行者(外国人)が重視する旅行目的

- | | | |
|----|------------------------|------|
| 1位 | その土地の郷土料理を食べる | 51 % |
| 2位 | 自然観光地を訪れる | 48 % |
| 3位 | 温泉を楽しむ | 47 % |
| 4位 | その土地で採れた魚介や肉、野菜や果物を味わう | |
| 5位 | 歴史的な街並みを楽しむ | |

出典：アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版 (DBJ・JTBF)

n=4,807

外国人旅行者が重視する「食・自然・温泉」は、十和田への来訪目的でも上位
また、「現代美術館」「まち歩き」も特徴的な来訪目的となっている。

(3) 旅行消費額

1人当たり旅行消費額(日本人旅行者)の比較

単位：円/人

	十和田市	青森県	全国
一人当たりの旅行消費額	14,380 (24,105)	21,510	33,143
宿泊費	7,132 (16,857)	4,890	8,475
宿泊以外の消費	7,248	16,620	24,668

【注意】

十和田市は算出条件の異なる2種類の数値を併記

上段の数値：日帰り客を含む値。青森県・全国との比較するために
算出条件を可能な限り揃えた参考値

下段（カッコ内）の数値：日帰り客を含まない宿泊客ベースの値

宿泊費は青森県平均を上回る一方、
一人当たりの旅行消費額では青森県・
全国を下回る

県平均や全国を大きく下回っており
飲食・買物・体験等の消費拡大が
課題である

今後は滞在価値を高め、「宿泊以外の消費」に繋げることが重要である

出典：青森県・全国の旅行消費額は観光庁「旅行・観光消費動向調査2025年 都道府県別集計表(2025)」を用いて算出。青森県は青森県消費単価から交通費を除いて算出。全国は、同表の各都道府県の消費単価を訪問者数で加重平均したうえで、交通費を除いて算出。いずれも十和田市の来訪者アンケートの調査項目に合わせた参考値。
十和田市の旅行消費額は、十和田市来訪者アンケート（2025年）の結果を用いて算出。

十和田湖の現在地と課題

現在地

- 認知率は高く、自然という圧倒的な武器も持っている
- 来訪は夏～秋に集中し、中高年層が中心
- 外国人宿泊者は秋～冬に割合が高まり、約8割が台湾
(奥入瀬・八甲田と比べると、さらなる拡大の余地がある)
- 飲食・買物・体験の旅行消費額が低い

課題

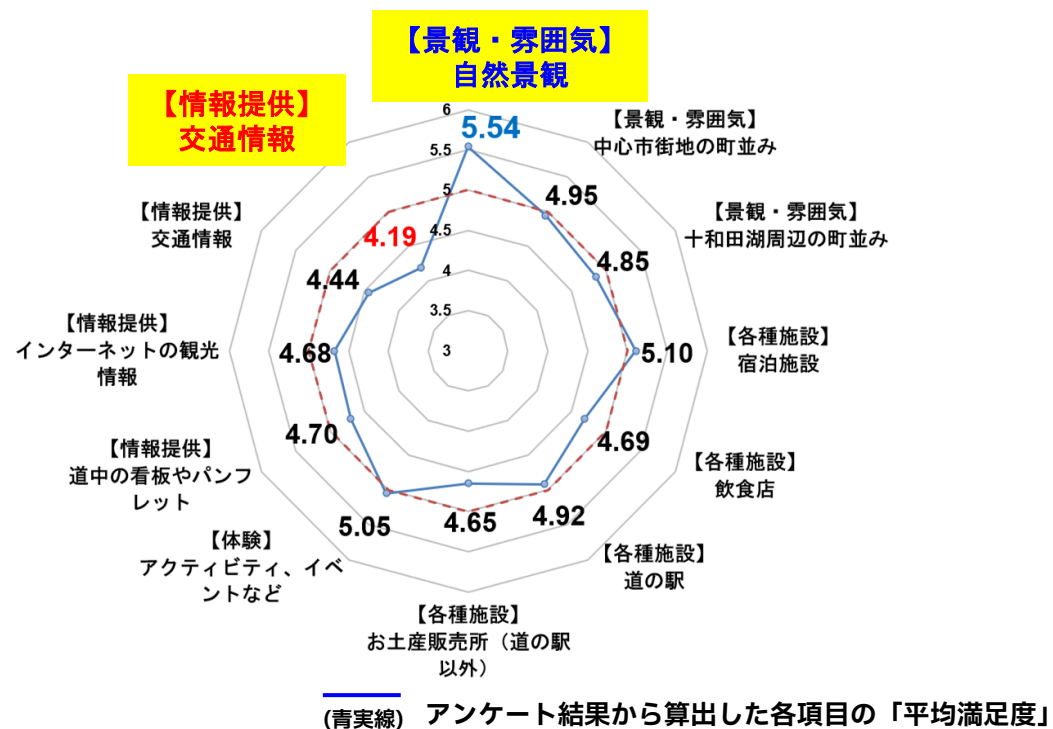
来訪時期の平準化や来訪者属性の偏りの緩和
さらなる誘客、旅行消費額の増加に向けて
滞在の価値・質を高めることが重要

十和田湖ならではの価値をしっかりとお客様に伝え、消費・滞在に繋げる必要がある

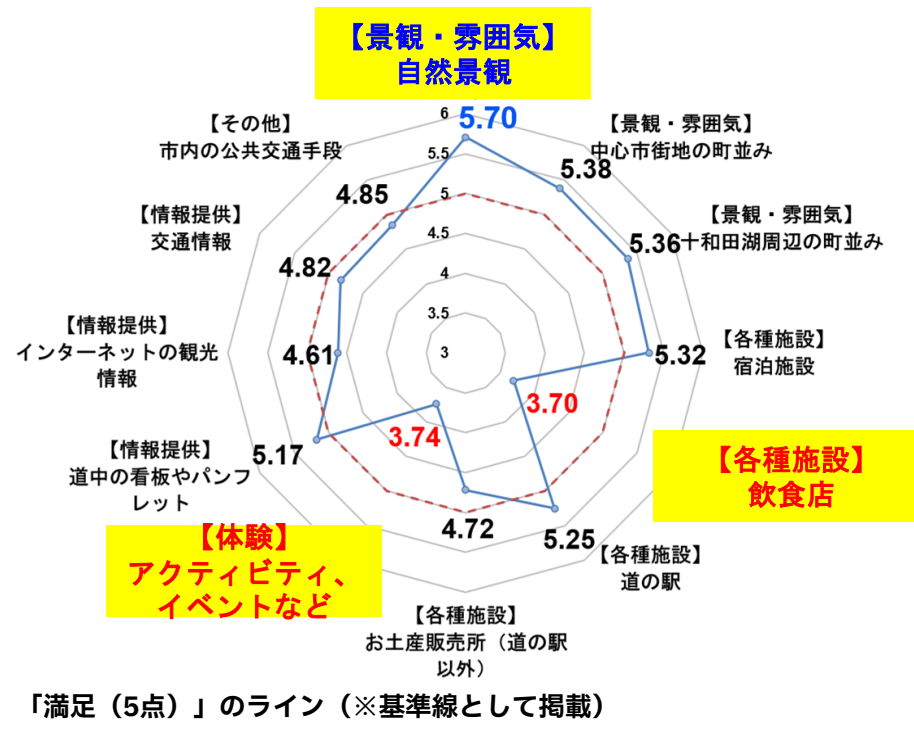
(1) 来訪者満足度

満足度(6段階評価)に応じてポイント化して、平均値を算出しチャートグラフ化

日本人



外国人

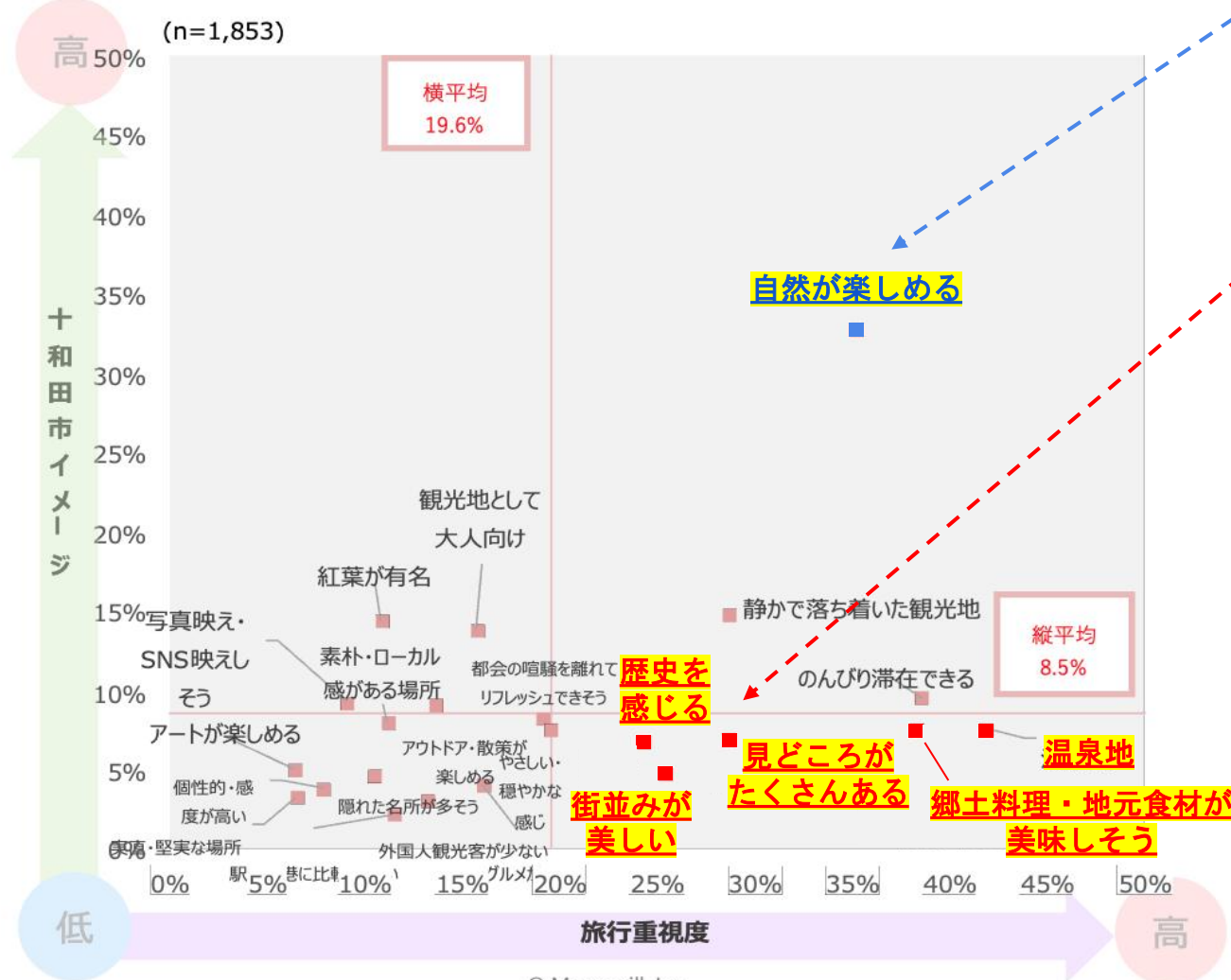


日本人・外国人ともに「自然景観」の満足度は高い。
一方、「アクティビティ・イベント」「飲食店」の評価が低く、特に海外は顕著。

【出典】2025年度 来訪者アンケート（十和田奥入瀬観光機構） 【分析期間】2025年4月～2026年3月

(2) 質を高める切り口「お客様の興味・関心」

①十和田市のイメージと旅行で重視するポイント



強み

旅行での重視度も高く
十和田市イメージにも一致

・ 自然が楽しめる

伸びしろ

旅行での重視度に対して
十和田市イメージはまだ弱い

- ・ 歴史を感じる
- ・ 街並みが美しい
- ・ 見どころがたくさんある
- ・ 郷土料理・地元食材が美味しそう

・ 温泉地

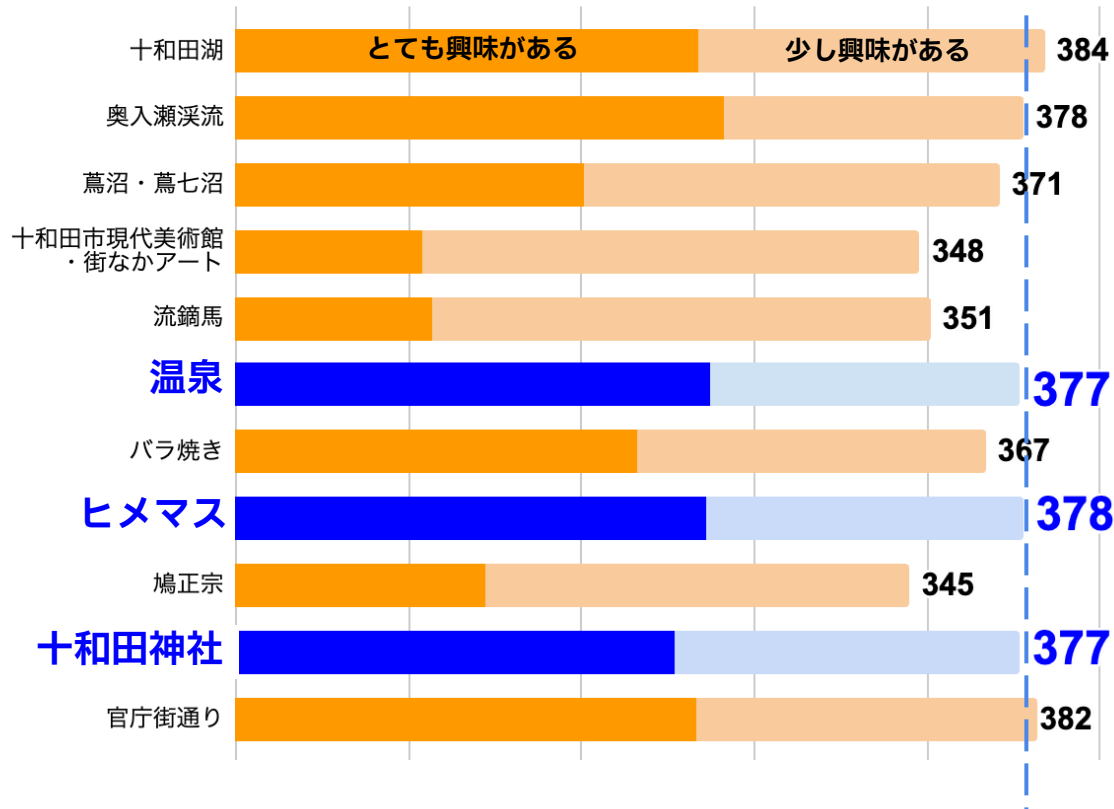
「伸びしろ」を活かすことで
さらなる誘客や滞在価値の
向上につながる可能性がある

出典：2026年 十和田市認知度調査結果報告書(マクロミル)

(2) 質を高める切り口「お客様の興味・関心」

②台湾東北遊楽日2025アンケートより

※各観光資源の写真とその説明示した上で 興味の度合いを聴取
選択肢4つの内ポジティブな選択肢2つ
（「とても興味がある」「少し興味がある」）の合計をグラフ化



「十和田神社」や「ヒメマス」
「温泉」は海外からの関心が高い。

「歴史・信仰」「食」「温泉」は、国内外で関心が見られるテーマであり
誘客や滞在価値の向上につなげられる可能性がある。

出典：東北遊楽日2025でのアンケート(十和田奥入瀬観光機構)

本日のまとめ

課題

来訪時期の平準化や来訪者属性の偏りの緩和
旅行消費額の増加・さらなる誘客に向けて
滞在の価値・質を高めることが重要

十和田湖ならではの価値をしっかりとお客様に伝え、消費・滞在に繋げる必要がある



「歴史・信仰」や「食」などは、滞在の価値・質を高める切り口の一つ
「十和田湖ならではの」のこれらを誘客や滞在価値の向上に
どう結びつけていくかが今後の検討課題